

故障したモノコックバスのその後 ② バスファンの皆さんへ

士別地方の積雪はこの冬、さほどではなく1月中旬以降あまり雪は降っておりません。先日、札幌市で観測史上最大の降雪となりましたが、こちらでは大雪はなく平穏です。かわりに天気が良くなり、放射冷却現象でマイナス20℃など「しばれる」日々です。自分が子供の頃はマイナス30℃超えが一冬に数日あり、学校が休みとなって大喜びした記憶があります。温暖化は確実に進んでいるような気がします。

バスファンの皆さんにご報告です。

ホームページ「社長の独り言」を読んでいただいた、その道のプロの方から有志を募りモノコックバスのエンジン修理に関して、なんとか検討をいただけるとの嬉しいメールがきました。想定される故障の原因も考えていただいております。まだ、これからのことでの確実ではありませんが、弊社として明るい兆しがみえてきたと喜んでおります。

同じ型のエンジンは国内にはほぼ残っておらず、部品も入手不可能とのことで、モノコックバスエンジンの復活について、色々な面から検討をいただいております。

おそらく長い道のりになると思いますが、焦らずにいきたいと思っております。モノコックバスは冬期間、車庫で「静態保存」の状況ですが、見学はできるようにしておきます。ご希望の方は窓口にお申し出ください。

まずは、有志の方々にエンジン復活を模索していただいていること、心から感謝したいと思います。ありがたいことです。

以上、経過をご報告申し上げます。

2026年1月 士別軌道 社長 井口 裕史